

事務事業評価表

○基礎情報

課名		公園緑地課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	50	公園・緑地を整備する	吉野 大成	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	8 人	2 人	0 人	7 人	14.70 人	779 時間	8.1 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H28年度	H29年度	H30年度
市民1人当たりの都市公園面積	3.31㎡/人	8.73㎡/人	3.31㎡/人	3.37㎡/人	3.38㎡/人
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	レクリエーション拠点の整備
2	既存の公園・緑地の再生整備
3	協働による既存公園・緑地の管理運営
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(平成30年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H29予算(円)	H30予算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生ま れた成果・効果)	事務事業の指標	H30目標値	H30実績値	評価	取組 時間	事務 改善	休・ 廃止
					H29決算(円)	H30決算(円)										
1	住区基幹公園整備事業	1	0.19	一般	19,200,000	19,200,000	関係課や地権者に対しヒアリング等実施し、公園整備に向けて候補地を確保した。			市民1人当たりの都市公園面積	8.73㎡/人	3.38㎡/人	A	変動なし		
					19,200,000	19,200,000										
2	柳島キャンプ場管理運営事業	1	0.20	一般	24,546,000	0	指定管理者に対しモニタリングやヒアリングを実施し、集客に向けた新規事業を実施したことで、閑散期における利用者数を増やすことができた。			年間利用者数	22,000人	24,702人	S	減少		
					23,524,749	0										
3	既存公園等改修整備事業	2	2.34	一般	0	15,012,000	公園の定期巡回や、市民からの情報提供へ迅速に対応した結果、遊具の瑕疵による事故等なく施設を管理できた。			改修箇所数	12箇所	10箇所	S	変動なし		
					0	11,448,000										
4	市民の森再整備事業	2	0.32	一般	0	0	市民ワーキングと打ち合わせを実施し、再整備に向けた課題を整理した。			利用者数	9,100人	8,017人	B	変動なし		
					0	0										

5	中央公園再整備事業	2	0.13	一般	11,300,000 8,213,400	178,871,000 176,647,460	施工業者に対する適切な現場管理を行い、事故なく工期内で管理用事務所を完成させることができた。	中央公園の再整備	管理用事務所建設	管理用事務所建設	S	変動なし		
6	氷室椿庭園建物保存整備事業	2	0.03	一般	0 0	0 0	市民へホームページや広報紙を通じて情報発信し、氷室椿庭園の登録有形文化財への登録を周知することができた。	和室の一般開放再開	有形文化財登録	登録有形文化財登録(11月2日)	S	変動なし		
7	市営水泳プール管理運営事業	1	0.64	一般	33,892,000 32,453,293	32,836,000 32,637,572	指定管理者に対しモニタリングやヒアリングを実施し、安全な施設の管理運営ができた。	利用者数	24,450人	33,301人	S	増加		
8	公園・街路樹等剪定・除草業務事業(提案型民間活用制度事業)	2	1.28	一般	34,342,000 34,199,550	54,182,000 53,733,600	施工業者との事前調整や現場立会いを実施し、適切な街路樹等の剪定ができた。	計画的な除草・剪定	計画立案・実施	計画立案・実施	S	減少		
9	公園愛護会事業	3	0.50	一般	1,842,000 1,613,176	1,845,000 1,765,099	公園愛護会と協力し、花壇の植え替えや除草を実施し園内の美観を維持した。	公園愛護会活動箇所数	46か所	47か所	S	変動なし		
合計					H30予算(円)	301,946,000								
					H30決算(円)	295,431,731								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課かい是一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

公園緑地課の第4次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き14事業である。その中で9ある政策的事業における指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、最も多かったのは、「S」7事業であり、以下「A」1、「B」1事業となっている。

市民一人あたりに対する公園面積は増加傾向にあるも、施策の目標値に対して実績値が下回っている状況であるため、継続的に公園整備を進めていく必要があるが、用地の確保については地域事情や地権者の意向に左右される部分もあるため、タイミングを見極めて交渉を進めていくことが重要であると考え。

指標の達成状況に着目すると、80%以上達成できた事業が、すべての事業となる。

公園緑地課の事業は、現在ほとんどが施設運営及び維持管理的な経費であり、定例的に実施することで良好な施設維持を図るものとしての評価となるが、遊具の瑕疵による事故等がなく、また市民からの要望についても対応を継続できたことへの評価は高いと考える。

No.2の柳島キャンプ場管理運営事業においては、平成30年度から指定管理者制度を導入し、利用者へのさらなるサービス提供と利用者収入による管理運営により、市の歳出をゼロに抑えたこと。また、配置職員を削減できたことは非常に高い成果であると考え。

No.6の氷室椿庭園建物保存整備事業は、庭園内の茶室は耐震強度が足りないことから現在利用を中止しているが、登録有形文化財登録されたため「S」評価としている。

職員の時間外勤務については、総時間で1,046時間、一人あたりに換算すると月平均約8時間であり、全庁的に見ても少ない方ではあるが、現場作業員を含めず事務職だけで見ると一人あたり月平均約17時間となるため、今後もさらに時間外勤務の縮減に向け努めていきたい。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は -)	事務改善の内容
-	-	-
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は -)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	市域の一人当たり公園面積は、目標と大きく乖離しており、市民の公園整備に対するニーズも高い。その中では、公園の整備や既存の公園の維持管理に係る事業は、今後も継続して取り組みを推進していく必要性があるため。
-	-	-

6 働きかたの見直しにおける取り組み結果(28-30年度の3か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

取り組みの結果

公園等の管理運営において、指定管理者への委託や、提案型民間活用制度を活用した事業の実施により、より現場の状況に合わせた効率的な事業の実施ができるようになってきている。また、委託契約の期間を複数年にできるものについては、複数年契約をすることで、年度末年度初めに集中する契約事務の効率化が図られた結果、時間外勤務の削減につながった。